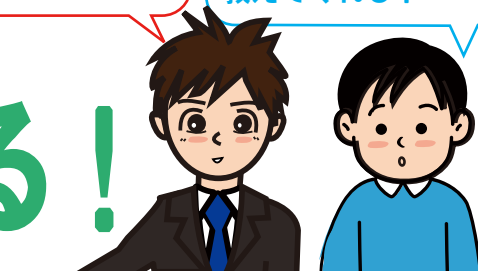


# 成田空港は もっと良くなる！

はい！  
私が取り上げた政策は  
大きく **4点** になり  
ます。

しんごちゃん！  
一般質問で取り上げた  
「空港政策」について  
教えてくれる？



## ✓ 第三滑走路の推進すべき！

いよいよ国も昨今の航空需要に応えるためには第三滑走路が必要と明言！  
昨年16万6116人の署名運動に汗をかき、本年4月の署名提出から大きな「動き」が  
出てきました！実現に向けて課題解決に尽力してまいります！

## ✓ B滑走路の延伸（3200m化）を推進すべき！

現在2500mのB滑走路ですが、航空機の技術革新を前提にしても3200m以上の滑走路が  
望ましいことから、さらなる延伸の必要性を訴えました。こちら国、県、市、  
NAAで検討されていくことになります！

## ✓ 夜間飛行制限の緩和すべき！

成田空港は内陸空港であるため、夜間運用制限措置がなされていますが、各エアラインから  
更なる緩和を求める声の大きいことから、22時台の10便規制をはじめ、23時以降の発着枠の  
使用を認めるべきであると提案しました。

## ✓ 騒音・落下物対策を積極的に講じるべき！

現在、騒音下には約6700世帯、1万8000人の方が生活されているため、騒音地域に寄り添った  
対策としての「希望移転」などを講じることで、信頼関係の構築とご理解を求めていくよう  
申し入れました。

こちら！

もっとよくなる！

## 一般質問から一週間後、

9月17日に国、県、周辺市町、成田国際空港株式会社（NAA）の四者協議会が開催されました。上記政策もテーブルに乗り、これから具体的な議論に入るべく、NAAは『成田国際空港のさらなる機能強化推進本部』を立ち上げて、メリットや騒音問題について調査が行われることになりました。  
成田空港の年間発着枠は滑走路2本で30万回、2014年の発着回数は約23万回でした。一見すると枠には余裕がありますが、ピーク時間帯はすでにいっぱい状態であり、需要に応えられていません。成田市の将来のためにも、引き続き創意的な議論をしてまいります。

- ・1978年10月31日生まれ(36歳)
- ・平成19年 2651票で初当選
- ・平成23年 4079票で2期目当選
- ・平成27年 4526票で3期目当選
- ・教育民生常任委員会、医学部設置特別委員会
- ・日本サーフィン連盟公認インストラクター

雨宮真吾事務所

〒286-0018  
成田市吾妻 3-48-28 TEL・FAX/0476-37-3831



Shingo Amamiya Narita City Report

# WAVE

Vol.34

成田市議会議員

## 雨宮しんご

撮影：公津の杜 国際医療福祉大学



先日わずかな時間ではありましたが、9月10日台風18号により記録的大雨となり、鬼怒川の堤防が決壊し大きな被害が出た茨城県常総市にボランティアに入りました。

見渡す限りの荒涼とした地には残骸以外何もなく、想像を絶する自然の圧倒的な破壊力を目の当たりにして言葉を失いましたが、自衛隊、警察、消防、そして多くのボランティアと総力を挙げての対応には、本当に勇気づけられました。

さて、被災地の復興には国の舵取りによるところが大きいですが、「10年に1度」程度の大雨での越水は、政府の怠慢だったと言わざるを得ません。もちろん全国各地の堤防の全てを直ちに強化するのは現実的ではありませんが、早期点検と優先順位を見極めた対策が肝要だとおもいます。

地方自治体については、住民の避難が迅速かつ円滑に進むよう、日頃の備えを再点検することが不可欠であることが浮き彫りとなりました。

近年頻発する豪雨に、どう対処すべきなのか。」今回のことを教訓に、今後の対策に生かすことができるよう、市民の皆さまの安心・安全を守る立場から引き続き対応してまいります。

活動日記を毎日更新中！！  
「雨宮しんご」で検索ください！

雨宮しんご

検索

info@ama-shin.net

www.ama-shin.net





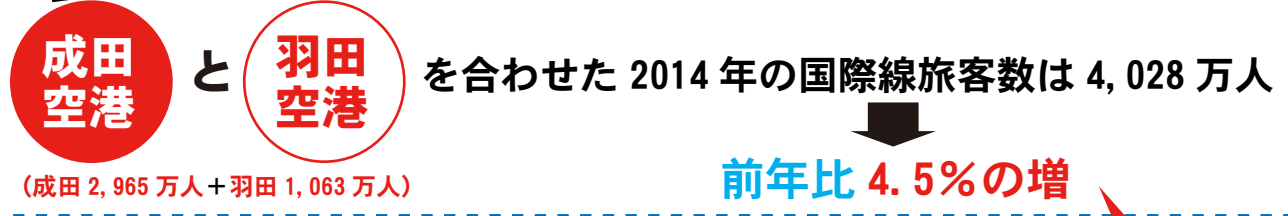
# 首都圏空港としての国際競争力も備えるべき！



2014年春からの羽田空港国際線増便により、成田・羽田の首都圏空港を乗り継いで海外へ渡航する需要が拡大した一方で、韓国仁川空港での乗り継ぎが減少しました。羽田増便の影響は成田空港にもありましたが、首都圏空港としてアジアに台頭したことは歓迎すべきだと思います。

- 地方空港から成田・羽田両空港経由で国際線を利用した乗継旅客数は、羽田空港増便後の2014年実績は？ **前年同期と比べて5.7%増加**  
(2012年～2014年の各年4月～7月調べ)
- 逆に、同期間に地方空港から出国して仁川空港で乗継を行った旅客数は？ **前年比5.3%低下**
- 特に、羽田空港で昼間時間帯に大幅増便が行われた欧州方面では、地方発首都圏空港乗継の旅客数が7%増加したのに対し、地方発仁川空港乗継旅客は？ **前年比31.9%も減少**

**以上のことから、** 地方発の国際線利用者の一部が、仁川空港乗継利用から羽田空港乗継にシフトしていると判断することができます。

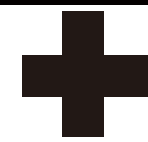


さらに、アジア主要空港（香港、チャンギ、バンコク、仁川）は、過去5年間（2007年～2013年）の国際線旅客数が年平均4%～7%で伸びています。北京・上海など中国の空港も大きく成長するなか、成田と羽田の首都圏国際線旅客数の増加率は0.9%に留まっています。

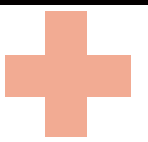
## 成田 VS 羽田もさることながら、首都圏空港 VS アジア

これまで「成田 VS 羽田」という構図を取り上げて議論を展開してきましたが、改めて世界、アジアに目を向けてみると、日本の航空政策が近隣諸国に頭一つリードされていることに気がきます。その意味においては、成田の成長を促しながら同時に首都圏空港としての成長にも目を向けて行かなければなりません。

私も汗をかいている成田空港に第3滑走路を求める署名活動は、空港周辺9市町の人口が約33万人のなか、16万6千人もの署名が集まりました。4月下旬に国土交通省に署名が提出されましたが、引き続き国際競争力にかなう成田空港へ引き上げるため、議会からも声を上げてまいります！



# 医学部の誘致へ！



来年の開学に向けて現在、建設が進められている医療大学に加え、先日国家戦略特区の一環として、市内での医学部の新設が事実上みとめられました！ここでは、Q & Aで今の状況をお伝えいたします！

**Q 成田って医者がすくないの？**  
**A** はい。千葉県では全国ワースト3位、成田市においても医師数もさることながら一般病床数も全国平均を下回っているのが実情です。

**Q どの大学の医学部がくるの？**  
**A** この秋を目途に公募で決定しますが、これまでの医学部誘致の経緯、国家戦略特区への共同提案を踏まえ、医療大学を建設中の「国際医療福祉大学」が最有力です。

**Q いつできるの？（順調に審議を経た場合）**  
**A** 医学部キャンパス（公津の杜、医療大学隣に建設）  
●1～2年生棟 → 29年4月開学 ●3～6年生棟 → 30年供用開始  
附属病院（空港そば畑ヶ田地区に建設予定）  
平成31年下半年期開業予定

**Q 大学誘致にはいくらぐらいかかるの？**  
**A** まだ確定していませんが、最大でキャンパス用地購入に約23億円（無償貸与）、キャンパス用地等160億円の半額を千葉県と成田市で、附属病院用地造成などに10億円、附属病院建設への出資で20億円になります。（現在、市財政、コストメリット、経済効果、地域医療への貢献など様々な視点から審査しています！）

**Q 成田市の医療に貢献してくれるの？**  
**A** 誘致により教員を含めた医師数は450人程度確保。さらに、臨床実習生の市内病院への受け入れ、救急医療の体制の整備を提案し検討が進められることに！

**Q 医学部を誘致して経済効果ってあるの？**  
**A** 建設時に最大で857億円、開設後6年目以降は年間211億円の経済波及効果となる予定です。なお、資材購入をはじめ可能な限り市内事業者に配慮いただけるよう、市にはもちろん、大学側にも直接依頼、快諾をいただきました。

**Q 医学部・附属病院の規模はどのぐらいなの？**  
**A** 医学部定員は140人、うち20人は特別国際枠として留学生を想定、附属病院については、600床の規模で、ほぼすべての診療科を整備し、外来患者2000人にも対応できる施設を目指しています。日本医科大学千葉北総病院と同規模になります。